

Date Mailed Aug. 2, 2005

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2002-239460
起案日	平成17年 7月26日
特許庁審査官	千葉 輝久 8938 5V00
特許出願人代理人	大澤 敬 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の記事に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1-5、15、16

引用文献1には、操作機側のデジタル複写機の下記の原稿給紙装置にセットされた原稿と、操作機とは異なるその他のネットワーク上のデジタル複写機の下記の原稿給紙装置にセットされた原稿とを一連の原稿として自動的に処理する原稿処理手段を有するデジタル複写機のネットワークシステムが記載されている。

また、引用文献2には、画像データを他の複写機にリアルタイムで転送できるデジタル複写機において、ハードディスクに画像データを圧縮して格納すること、圧縮データを転送することが記載されている。

上記請求項に係る発明は、引用文献1及び引用文献2に記載された発明に基づいて当業者が容易に発明をすることができたものである。

請求項6-12

引用文献3には、画像処理装置に備えられた画像読み取り装置(第1リーダ部)と、外部にさらに接続した画像読み取り装置(第2リーダ部)とで同時に画像を読み取って画像を出力する画像処理装置が記載されている。

引用文献1に記載されたものにおいて、複数のデジタル複写機の下記の原稿給紙装置にセットされた原稿を読み取る場合に、引用文献3に記載されたもののように、同時に(並行して)読み取る構成とすることは容易になし得る。

したがって、上記請求項に係る発明は、引用文献1乃至3に記載された発明に基づいて当業者が容易に発明をすることができたものである。

請求項14

引用文献4には、画像メモリを、共用エリアとして用いるか、または、メモリの特定の領域を専用エリアとした用いるかを設定することができるメモリを管理する方法が記載されている。

引用文献1に記載されたものにおいて、引用文献4に記載のもののようなメモリ管理を行うことは必要に応じて適宜なし得る事項である。

請求項17-32

これらの請求項に係る発明は、請求項1-3、6-8に係る装置の発明を単にカテゴリーを変えて方法、プログラムまたは記録媒体として記載したものであるから、上記した理由と同様に、引用文献1乃至3に記載された発明に基づいて当業者が容易に発明をすることができたものである。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平8-116429号公報
2. 特開平11-331470号公報
3. 特開2002-44300号公報
4. 特開平11-346296号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 H 0 4 N 1 / 0 0

・先行技術文献

5. 特開 2 0 0 0 - 3 5 8 1 2 7 号 公 報

6. 特開平 1 1 - 3 0 5 9 5 6 号 公 報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。